

大牟田市立みなと小学校



1 学習に取り組んでいる主な分野

☒ 生物多様性	☒ 海洋	☒ 防災・減災	☒ 気候変動
☐ エネルギー	☒ 環境	☐ 文化多様性	☒ 世界遺産・文化財
☐ 国際理解	☐ 平和	☐ 人権	☐ ジェンダー平等
☐ 福祉	☐ 生産と消費	☐ その他（ ）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校では、E S Dを、学校の教育活動全体を通じて、人格の発達や自立心、判断力、責任感などの人間性を育むとともに、他者との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「かわり」「つながり」を尊重する活動と捉え、E S Dの実践を通して人間関係形成能力、意思決定能力、情報活用能力、将来設計能力の育成を目標としている。

具体的には、海洋教育、防災教育を柱に、世界文化遺産である三池港を中心とした大牟田の町の持続発展にかかわる学習、気象にかかわる学習や、地域の防災対策について学習を行った。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 有明海の生物や三池港と海を取り巻く環境について学ぶ学習

校区にある世界文化遺産・三池港を軸に据え、総合的な学習の時間を中心に「海洋教育」を教育課程に位置づけた学習を行った。「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を活用する」の4つのキーワードを系統的・段階的に設定し、有明海の生物や三池港と海を取り巻く環境について学び、「海と人との共生」を考えた。そして、大牟田市の持続発展とSDG 14「海の豊かさを守ろう」のために、自分たちには何ができるかを考え、校内や地域に向けた発信や実践を行った。



具体的には、3年生で、海の時間に「有明海の生き物を知ろう」をテーマに、広大な干拓を有する有明海の雄大さに触れたり干拓に棲む様々な生き物の様子や有明海の中に棲む生き物について調べたりしたことを基に、生物多様性や自然保護について考え、オンラインで他校と交流する活動を行った。4年生では、海の時間に「有明海的环境を調べよう」をテーマに、元三池海水浴場に落ちていたり漂着したりしているゴミの様子を調べ、ゴミの内容や原因について考えたことを基に、ゴミを無くすための取組について考え地域に呼びかける活動を行った。

○ 気象に関わる学習や、地域の防災対策についての学習

5年生では、海の時間に「有明海と人々の世界の関係を調べよう」をテーマに、令和2年7月豪雨被災の経験をもとに、大雨が降るメカニズムを調べたり、自分や家族・地域の人々の命を守るための防災バッグの中身のあり方を考え、自分たちが考えたモデルとなる防災バッグをつくったりした。それを、地域の公民館に展示していただき、地域社会への啓発活動へとつないだ。6年生では、海の時間に「有明海と生きるために行動しよう」をテーマに、5年生で学習した内容をさらに進化させ、シチュエーションに合わせた防災バッグの中身を考えたり、地域の危険箇所をもとに防災マップの作成などについて考えたりして、発信する活動を行った。さらに、市内の海洋教育推進校としての学習交流会や合同三池港見学、zoomによる合同授業や海洋教育子どもサミット等の実施も行った。



3 今後の活動計画

令和5年度は、E S Dにおいて、海洋教育を柱とした体験活動や探究活動をさらに充実させていきたい。そのために、

1. 横断的・総合的なE S Dの実践を通して、P D C Aサイクルを確立させながら、令和4年度までの実践をさらに高める。
2. 海洋教育、防災・減災教育の目指す資質・能力を明らかにしながら系統的なカリキュラムになるように見直しを図る。
3. 身近な教育財産「ひと・もの・こと」を最大限活用できるように、活用力・指導力のブラッシュアップを図る。
4. 様々な体験活動や協働学習を促進し、子どもたちが自信をもって活動を広げていくことができるようにする。